

# (お知らせ)

## 聳島に移送したアホウドリのヒナの死亡原因について

<環境省自然環境局 同時発表>

平成24年4月17日(火)  
(公財)山階鳥類研究所

むこじま

平成24年3月8日(木)にお知らせいたしました、小笠原群島聳島において人工飼育中のアホウドリのヒナ1羽の死亡について、病理検査を行った結果、死因は、消化されず胃に残っていた食べ物が、何らかの事故的原因により吐き戻された際に気管内混入したことによるものと推測されましたのでお知らせします。

1. 死亡個体 個体番号 Y72 (性別未判定、推定約60日齢)
2. 発見年月日 平成24年3月8日(木) 午前8時
3. 発見場所 小笠原群島聳島 (人工飼育実施場所)
4. 発見者 山階鳥類研究所研究員
5. 発見時の状況

死亡したヒナは、前日の給餌時までは体調の異常を感じさせる様子は見られませんでした。当日飼育地を訪れた時には、既にうつ伏せの状態での死亡していました。死亡したヒナを触診したところ、胃と嘴の中には大量の未消化の餌が残っていました。

6. 検査実施機関  
岐阜大学応用生物科学部

### 7. 死亡原因

- 直接的な死因は、消化されず胃に残っていた食べ物が、何か事故的原因により、それを吐き戻した際に気管内混入したことによる窒息と推測されました。
- 死亡の背景となる要因については明確には特定できませんでしたが、栄養的な脂肪代謝異常(代謝速度の低下)や、種々の臓器および組織の変性と過剰なミネラル沈着が見られ、これらが背景となった可能性があります。

### ● 移送当初のアホウドリのヒナの写真 (平成24年2月11日撮影。死亡個体ではありません)



写真提供：(公財)山階鳥類研究所

この件についての連絡先  
(公財)山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山115)  
保全研究室長 尾崎清明 または事務局広報主任 平岡考  
電話：04-7182-1107 (時間外：04-7182-1104) Fax:04-7182-4342